

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
調査地点	37.8155°	140.9763°	R1.8.21	11:15	11:35	25.0	24.6	砂	2.5Y3/2	貝殻片	0.7	0.7		
L-2	37.8155°	140.9763°	R1.8.21	11:15	11:35	25.0	24.6	砂	2.5Y3/2	貝殻片	0.7	0.7		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点	37.8155°	140.9763°	R1.8.21	11:15	8.0	0.8	2.2	6.9	4630	31.39	1.4	8	4.2	0.0058	0.086	0.00091
L-2	37.8155°	140.9763°	R1.8.21	11:15	8.0	0.8	2.2	6.9	4630	31.39	1.4	8	4.2	0.0058	0.086	0.00091

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
調査地点	37.8155°	140.9763°	R1.8.21	11:35	7.8	275	19.5	1.0	1.5	2.709	0.0	0.6	68.4	27.5	1.5	2.0	0.30	2.0	1.3	15	N.D. (0.13)
L-2	37.8155°	140.9763°	R1.8.21	11:35	7.8	275	19.5	1.0	1.5	2.709	0.0	0.6	68.4	27.5	1.5	2.0	0.30	2.0	1.3	15	N.D. (0.13)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	R1.8.20	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.011	—	—	—	28	N.D. (3.5)	28	—
					環形動物	多毛	イソ	キホシイソ	<i>Lumbrineridae</i>	ギボシイソメ科	93	0.054	未成体/成体	—	—	1.7	N.D. (0.96)	1.7	—	
					環形動物	多毛	スオ	ミスヒキコカイ	<i>Cirratulida</i>	ミズヒキゴカイ科	23	0.036	未成体/成体	—	—	1.6	N.D. (1.3)	1.6	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テッポウエビ	<i>Alpheidae</i>	テッポウエビ科	98	0.044	未成体/成体	—	—	1.8	N.D. (1.0)	1.8	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon</i> sp.	スジエビ属	30	0.063	未成体/成体	—	—	3.6	N.D. (0.70)	3.6	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Hemigrapsus</i> sp.	イソガニ属	2	0.11	未成体	—	—	0.86	N.D. (0.65)	0.86	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ワタリガニ	<i>Charybdis japonica</i>	イシガニ	30	0.048	未成体/成体	—	軟体部	1.7	N.D. (1.2)	1.7	—	
					軟体動物	二枚貝	マルスタレガイ	マルスタレガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	78	0.11	未成魚	—	—	1.7	N.D. (0.61)	1.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Tridentiger trignocephalus</i>	アカオビシマハゼ										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Acentrogobius virgatus</i>	スジハゼ										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Gobiidae</i>	ハゼ科										
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ										
脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ															
脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	2	0.050	未成魚/成魚	—	—	1.6	N.D. (1.2)	1.6	—						
											2	0.093	未成魚/成魚	—	—	1.2	N.D. (0.65)	1.2	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。